

1学年だより

西東京市立青嵐中学校
第1学年 学年便り
令和7年4月 25日 No. 5

未来永劫の平和を願って

入学してから3週間が経ち、中学校の授業にも少しずつ慣れてきた印象があります。教科の授業はもちろんのことですが、それ以外の取組にも真剣です。平和や人権についての授業・講話では集中して話をよく聞き、自分なりに考えを深める姿がありました。

西東京市平和の日



西東京市では、4月12日を「西東京市平和の日」と定めています。先週の道徳の授業では、身の回りの地域やそこで暮らしていた人々が、戦時中どのような被害を受けたのかについて学びました。1945年4月の空襲の爪跡は、80年経った今なお見つけることができます。“平和”は当たり前ではないこと、その平和が続くためにはどんなことが大切なのかを、一人一人が自分のこととして真摯に考えていました。学習の感想をいくつか抜粋して御紹介いたします。

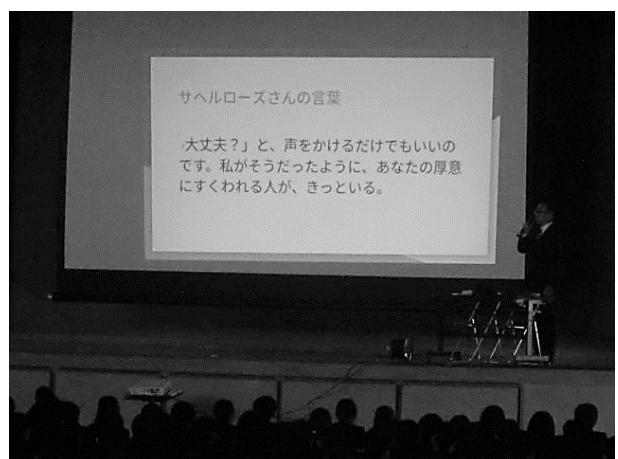
- ・戦争のことは小学校のときも考えていたけれど、自分たちが生まれ住んでいる西東京市に爆弾が落ちていたなんて知らなかったから、聞いてびっくりした。
- ・戦争は関係ないとと思っていたけれど、田無駅のオフィシェや保谷に残る傷など身边なところにも戦争に関わることがあるんだと知った。
- ・西東京市平和の日を忘れないでおきたい。私たちが忘れないで次の世代につなぐことによって二度と戦争を起こさないで済むなら、忘れないでいたい。



平和について考える ~サヘル・ローズさんの生き立ちから~

4月21日（月）の全校朝礼では、校長先生から「平和について考える」をテーマに講話をいただきました。女優サヘル・ローズさんは幼少期に戦争で家族を失い、学校生活でもいじめに遭うなど数々の過酷な試練がありました。時には自死の選択も考えたと言います。それでも懸命に生き、ついに自身の夢を叶えた彼女の言葉には、重みが宿ります。

彼女にはいくつか著書があり、校長先生が紹介された『言葉の花束』もその一つです。朝読書の時間に、ぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。



<作文紹介>

前号に引き続き、『中学生になって』というテーマで書いた作文を掲載いたします。
今号は、B組からの紹介です。

「中学生になって」

1年B組 H・Y

私はこの春、進級し中学生になった。そしてそれと同時に新たな目標もできた。その目標は、勉強と部活の両立。中学生になり、小学生の勉強とはちがう難しさが増える。しかもそのうえ、部活動というものも増える。私は勉強が大の苦手で、特に算数、国語がきらいだった。国語は物語の文章から登場人物の気持ちや思いを読み取り、想像するのがいやだったし、算数はいくつかの数量の計算の仕方を考えて計算するのがいやだった。算数は算数から数学へと変わる。そして基礎から発展問題に変わっていく。小学生のうちに基礎を身に付けなければいけないので必死に勉強にはげんだ。それでも、やっぱり勉強ぎらいなのは変わらず、いつも机に向かうのがいやだった。

私は、ある日親に勉強がいやだったということを話すと両親は、
「学びの楽しさを見つけてみて。遠回りが近道なんだから。」
と言った。私には学びの楽しさなんてないのだと思っていたが、ある日、いつも分からぬまま答え合わせしていた問題にチャレンジし、違う視点から見て考えてみたら解けるようになった。そして、解ける楽しさ、親が言っていた学びの楽しさに気付けた気がした。

それから授業がいつもより楽しく思え、机に向かう重い気持ちも楽になった。うまく言葉にして説明するのは難しいが、私は勉強していく大切さにも気付けたと思う。そして中学生になり、これからも何事もある一定での考え方ではなく違う視点で考えてがんばってみようと思った。もうすぐ部活も始まり、時間配分が大変になっていくと思うが、一分一秒を大切にして苦手にも向き合っていこうと思う。



来週・再来週の予定 8:25までに席に着きましょう

日にち		予 定
4月28日	月	振替休業日
4月29日	火	昭和の日
4月30日	水	通常授業①～⑤ 防災地区班確認 心臓検診 専門委員会
5月 1日	木	通常授業①～⑥
5月 2日	金	通常授業①～⑥
5月 5日	月	こどもの日
5月 6日	火	休日
5月 7日	水	4時間授業 給食なし
5月 8日	木	通常授業①～⑥ 定期考査前学習週間始 放：生徒総会リハーサル
5月 9日	金	通常授業①～⑥ 生徒総会
5月10日	土	3時間授業 給食なし 避難訓練（引取訓練） 午後：部活動保護者会

★5月7日（水）、5月10日（土）は昼食をとらずに下校します。

御家庭で昼食の御準備をお願いいたします。

★5月10日（土）は引取訓練です。10時55分から、保護者の方に教室までお迎えに来ていただき下校します。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。